

みなもとなおよし さく

源直義作

かたな

刀

■所有・管理者／松前町

■昭和62年12月10日町指定

「松前福山剣工泉心源直義造 同藩八木橋秀親応需、慶応二年霜降月日」

■平成5年11月25日町指定

「松前福山剣工泉心源直義造 同藩高田氏応需、慶応元年十一月日」



源直義作刀(慶応二年)



源直義作刀(慶応元年)

《刀》

道内における作刀例は、源^{みなもとまさお}正雄と源^{みなもとなおよし}直義、及び堀井^{ほりいまさつぐ}正次の3名が知られており、このうち松前で作刀されたものは、すでに道指定文化財となっている堀井正次の薙刀と、昭和62年12月10日に町指定文化財となっている直義作の「八木橋秀親応需」による慶応2年作の刀があり、さらに、同じく直義作の「高田氏応需」による慶応元年作の刀が、平成5年11月25日町指定文化財に指定された。

源直義は、三河国(愛知県)に生まれた刀鍛冶で、本名を山口徹弥太^{かえい}といい、嘉永年間(1848~1853)に松前藩に招へいされ、箱館戦争後、日高の浦河で死去したとされている。